

## 2024年度自治会長／防災会長あいさつ

佐伯芳夫

松風台も、東急不動産が開発・分譲を始めて、今年で50年になりました。つまり半世紀が経ったわけです。その間私たちを取り巻く地域は、幸いにして地震、火災、水害等による大きな被害は全く無かった、と言ってよいかと思えます。

然しながら、昨今の長期予想の中では、地球全体の温暖化傾向による気象変動の影響に伴い、海水位の上昇、台風の大型化傾向、地殻変動などが叫ばれ、向こう30年の間に、それらの一部が現実となって大きな災害が発生する可能性は70%ある、とも言われています。これが意味するところは、今の私たちが一年を無事に過ごす毎に、次の年に大きな災害に出会う可能性がより高くなる、ということです。

これに対して、私たちがどう用心するか、出来る対策は何か、等について真剣に考え、議論する機会や場所を提供しているのが「防災会」ですが、何分半世紀以上も災害を経験していない私たちの集まりで作られている組織ですから、当然のことながら議論に迫力を欠き、現実味を欠くものになるのはやむを得ません。

我が松風台も、現実的に「災害が起こった」、「さあ、避難だ」ということになった時には、自治会長が防災会長として率先して自治会員を先導して避難させる、ということになってはいますが、でも、「どうやって?」、「どこへ?」等については、私としては全くアイデアが浮かびません。人様を避難させるどころか、自分自身の避難方法も覚束ないと思えます。

2011年3月の東日本大震災では、大きな被害がでる一方で、奇跡的に人的被害を免れ、一人の犠牲者も出さなかった村落例もあります。

その理由は、自治会が中心となって毎月行っていた避難訓練だったと云われています。我が松風台では、現在は年に二度の防災訓練（放水訓練と安否確認）を実施しているだけで、避難訓練の類いは行われていません。幸か不幸か、我が松風台では、それ以上の訓練を求められる災害危惧感はいまのところ余り現実的ではないのです。

然し、世界面積のわずか0.25%しかない小国日本なのに、地震発生件数が世界の18.5%にのぼる地震大国の中に松風台はあります。東日本大震災、阪神淡路大震災、今年の正月の能登半島地震などは私たちから見れば、地方のビッグニュースとして受け止めることで済んでいます。このような災害が松風台を襲わない、という保証はありません。

我々防災会としては、従来の防災訓練のメニューを頻度、レベル共に再考してみる必要があるかと思えます。それには、防災会だけでなく、自治会役員各位、更には住民の皆さんのご理解が不可欠です。

今後、防災から少しきついお願いがあるかと思えます。

是非、ご協力をお願いする次第です。

# 大地震発生時の防災行動指針

松風台住民が在宅時にとるべき防災行動を示す

緊急地震速報

地震です

じしんです

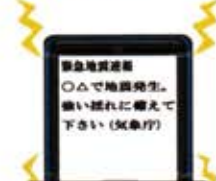
地震です



市防災無線



テレビ・ラジオ



スマホなど

①まず自らの避難



家屋内にいる場合は、机下などに避難して落下物や家屋倒壊による怪我を防止し揺れの収まりを待つ。

②家族の安全確認



怪我が発生した場合は、安全な場所まで脱出する。  
自力又は家族だけで不可能な場合は、隣近所に助けを求める。

③家屋・家財の保全



電気ブレーカーを落とし、火災発生の場合は、初期消火を行う。  
手に負えない場合は、大声で「火事」を近隣に告げるとともに隣人にも協力願い、街頭に設置の消火器なども持ち込み消火する。

④隣近所の安全確認



屋外に出て隣近所の様子を確認し  
・火災が発生していないか？  
・倒壊した家に人がいないか？  
健全な人は、隣近所に大声をかけてひとり一人の安否を確認する。

⑤震度<5弱以上>の場合

・自分や家族の安全が確認できた場合は、

⑥ 玄関に白いタオルを表示する



3昼夜表示してください

・松風台住民は、自宅で待機する。  
避難する場合は近くの公園へ  
・自治会役員・班長、防災会員は周辺の様子を把握しながら南公園に集合する。

⑦災害対策本部  
要否合議

南公園に集合した者が被災状況を収集して、以降の行動を決める。

松風台自治会 全戸配布

発行年月日 2020年01月30日

発行責任者 自治会長/防災会長

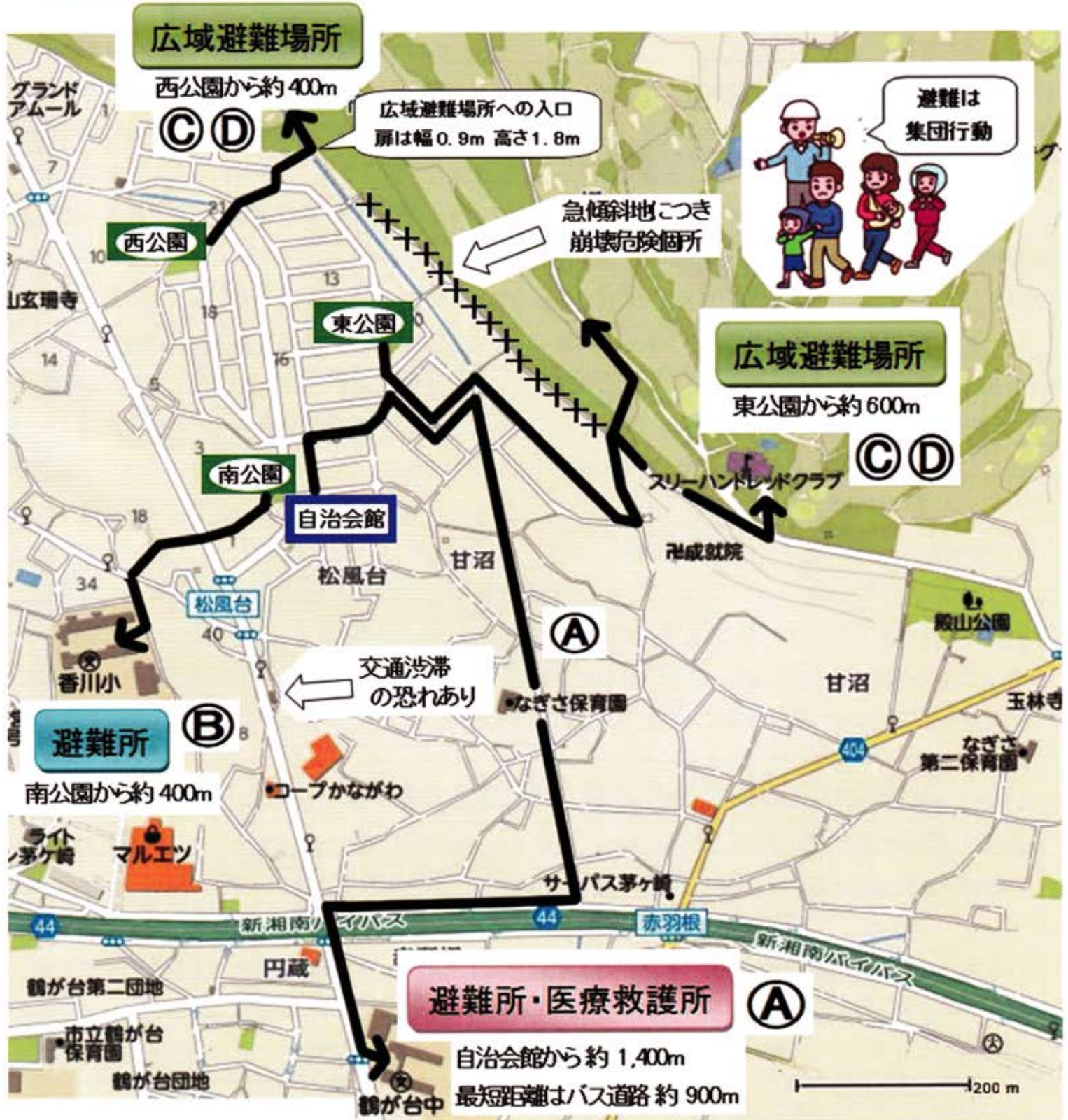
## 大地震により自宅から避難する場合の〈経路〉と〈場所〉

もし、自宅からも避難しなければならない事態の場合は、松風台周辺も大被災で大混乱しています。

**松風台災害対策本部で、事前確認のうえ、引率・誘導して集団行動で避難します**

避難経路は、安全に通行できるか 倒壊した遮蔽物、道路の陥没や渋滞がないか、事前確認が必要です。  
 避難所（学校）は、受入体制が整っているか 避難所の運営者も被災者であり、事前確認が必要です。

自宅から避難が必要な理由	一時避難場所	避難経路	避難所
Ⓐ 負傷による医療手当	松風台自治会館 (応急手当)	下図による 経路を予定	鶴が台中学校 (避難所・医療救護所)
Ⓑ 被災（倒壊、火災）から避難	松風台 南東西3公園 (自宅から近い公園)		香川小学校（避難所）
Ⓒ 大規模火災による広域避難			スリーハンドレットゴルフ場 (広域避難場所)
Ⓓ 津波からの避難		不特定	スリーハンドレットゴルフ場 など



# 2024年度 松風台自治会防災会暫定組織

2024/6/1

防災会長

佐伯芳夫

防災副会長

中島良弘\*

防災事務局長

手島正敬\*

防災会計

山本昌子\*

防災会常任者:10名

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 山田真由美* | 6 若林義道*  |
| 2 山本昌子*  | 7 山口正美*  |
| 3 安田由美子* | 8 西谷昭夫*  |
| 4 中島良弘*  | 9 手島正敬*  |
| 5 松下耕三*  | 10 行正龍昭* |

顧問:2名

- |          |
|----------|
| 1 三輪裕基子  |
| 2 早乙女辰夫* |

\*:茅ヶ崎市防災リーダー11名

## 大災害発生時

本部機能

本部長:佐伯芳夫  
不在時代行優先①中島良弘\*、優先②山本昌子\*  
副本部長:中島良弘\*  
不在時代行優先①山本昌子\*、優先②山口正美\*

情報受・発信および湘北地区情報伝達・共有  
手島正敬\*  
救護活動  
山田真由美\*

情報グループ(情報収集・伝達)

リーダー★中島良弘\* サブリーダー★安田由美子\*  
本部待機:★手島正敬\* 山田真由美\*  
★ 災害時トランシーバ携帯

平時業務:広報・教育・資機材整備  
松下耕三\*

災害時:被災状況の情報収集

避難誘導グループ

リーダー★山本昌子\* サブリーダー山口正美\*  
★ 災害時トランシーバ携帯

平時業務:訓練計画・資機材整備  
若林義道\* 西谷昭夫\* 行正龍昭\*

災害時:本部待機  
情報収集の下、避難誘導活動

防災活動サポートグループ

自治会員(被災なく活動できる会員)

災害時:本部要請により活動

**松風台災害対策本部の設置場所**

**被災直後:南公園一時避難場所**

**長期化する場合:自治会館2F**

## 2024年度自治会員全員対象の防災訓練スケジュール

月/日(曜日)	時刻	場所	内容
9/28(土)	10:00~11:30	松風台(西)公園	第1回防災訓練(放水訓練) 消火栓とホースを用いた消火訓練
11/16(土)	9:00~11:30	松風台南公園	第2回防災訓練(安否確認訓練) 白いタオルでの安否表示と班長報告 湘北本部への情報伝達
2025/2月	別途	別途	防災フェスティバル

※日程については、変更または中止の場合もあります。